

# 地質ニュース

昭和 49 年 10 月

第 242 号

1974

解 説

禍いを転じて福となす

～湯の川温泉の炭酸ガス資源とその開発状況～ …… 福 田 理 一  
木 川 松 三

八重山群島の自然と地質 …… 木 野 義 人 14

地質調査所における地形図 ④中国・四国編 …… 地 形 課 28

トピックス

瑞浪市化石博物館 …… 近 藤 善 教 32

海外事情

CRNNR とメキシコの鉱物資源 …… 竹 田 英 夫 37

中央アフリカ共和国の旅 ⑤

～ウラン鉱床のある町バクウマへ～ …… 小 村 幸 二 郎 46

地学と切手 …… 堀 内 恵 彦 13

学会掲示板 …… 27

## 編 集 地 質 調 査 所

表 紙 の 写 真

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社

### 斜 層 理 (Diagonal bedding)

斜層理は砂岩単層の内部にみられる堆積構造の一種である。日本においては古くから一般に偽層(斜交層理)と呼ばれとくに親しまれ地質屋の卵が野外において層理面と偽層面とを区別することができずしばしば誤認して先輩の地質学者からたしなめられたものである(写真のような見事な斜層理は少なく、実際には区別の困難なことが多い)。外国においては1925年以來この研究が盛んに行われてきたが日本においてはおそらく1960年前後から堆積学の研究が盛んとなり斜層理の前庭層の最大傾斜角の方向が堆積時の水流方向を示すことから古地理の解明の手段として調査研究がなされるようになった。偽層という文字そのものから受ける印象が適切でないと思われたので1963年筆者により斜層理と呼び改められた。

斜層理とは『一般の主層理面(主要堆積面)に対してある角度をなして堆積した層(stratum)が集合して作る堆積構造』をいいこのことから主層理面に対して『斜に堆積している』という状態を重視して名づけた。斜層理の分類は色々あるが筆者は形態的にみて平面型・谷型および峯型の3つに分類した。このうち最も多く出現するものは平面型で谷型は少なく峯型にいたってはきわめてまれである。堆積環境により河成・海成・風成の3つがある。

写真は北海道瀬棚郡瀬棚町花石駅南西方向約3,800m 利別川岸の露頭でみられたもので地層は瀬棚層(鮮新世)。

この斜層理は海成の平面型でセットの厚さは写真中央の顕著なもので約2mあり古流向は左から右に向かって流れている。流れの反対方向のものもみられる。(長浜春夫)